

平成 28 年度 特別養護老人ホーム 鑑石園 事業報告書

1. 事業運営の概況

平成 28 年度事業計画に沿ってケアプランによる機能訓練の充実を図ると共に、身体拘束やスピーチロックなどや言葉遣いの徹底を行い、職員の資質向上のための研修を繰り返し行った。また、各種委員会においては、各々の担当分野についての検討を重ねた。

毎月の防災訓練をより有意義なものとする為、消防署員の協力を得て訓練内容を見直した他、予告なしの非常呼集訓練を行い、職員の意識改革を図った。

平成 28 年度の総在所者数は 17,569 名、年間平均稼働率は 96.3%となった。

2. 事業計画実施状況

(1) ケアプラン

- ・ 利用者様 1 人ひとりの身体状況に合わせて作成した個別機能訓練計画書に基づき、機能訓練指導員・看護師・介護職員が連携して、ご本人に最適な生活リハビリテーションを行った。
- ・ 施設内での機能訓練に加え、気候の良い時期には屋上や園庭の散歩を考えていたが思うように出来なかった為、利用者様の気分転換を図りながら、楽しく歩行訓練を行う事が出来るよう工夫した。

(2) 身体拘束廃止に向けた取り組み

- ・ 職員の言葉遣いによってはスピーチロックに当たる場合もあることを再認識するための研修を行い、意識改革を図ったうえで、ミーティング等で意見を出し合い、対策について検討を重ねた。
- ・ 身体拘束・スピーチロックの廃止を各職員同士が把握し研修により意見を出し合う事により身体拘束廃止の意識づけを行った。
- ・ 高齢者虐待防止法の勉強を基に身体拘束防止を徹底するように意識づけを行った。

(3) 安全対策委員会

- ・ 平成 28 年度における事故報告事例は 92 件、そのうち要受診の事故等により

富士市に報告した事例は10件であった。

事故報告書は介護職員全員が閲覧し、再発防止に努めた。

・ひやりはっとの件数を増やし安全対策委員会で分析を行った。

(4) 委員会活動

・ショートステイ・デイサービス等、併設各事業と協働で委員会活動を行い、それぞれの年間目標に向けた様々な取り組みを行った。

① 排泄委員会(隔月1回)

利用者様の快適な生活と安眠を保つ為、個々の利用者様に最適なおむつの選択と、排泄パターンに合わせた時間帯に介助を行った。

② 褥瘡予防委員会(隔月1回)

利用者様の身体状況に合わせて褥瘡予防のための体位交換表を作成し、介護職員に周知した。また、クッションを活用し、臥床時及び車椅子乗車時の座位安定に努め、新たな褥瘡の発生を防いだ。

③ 身体拘束廃止委員会(毎月1回)

身体拘束・スピーチロック廃止についての検討内容を基に、全職員に対し身体拘束廃止のための勉強会をはじめ、発生した事故内容を検討し、事故発生防止に努めた。

④ 感染症対策委員会(隔月1回)

インフルエンザ発生時期に合わせて内部研修を行い、園内の消毒と、面会者のマスク着用・手指消毒を徹底すると共に、当日勤務職員には出勤前の検温を義務付け、外部からのウィルスの侵入防止に努めた。

食中毒その他の感染症については、手洗いや各所の清掃についての勉強会を実施し、食中毒の発生防止に役立てた。

⑤ 給食委員会(隔月1回)

管理栄養士が中心となって、嗜好調査の結果に基づく献立や給食内容の検討、配膳・下膳についての工夫、食中毒・ノロウィルスの予防対策等についての検討を行った。

⑥ 防災委員会(毎月1回)

各種災害を想定した搬送訓練・救護訓練を実施し、誰もが緊急時の対応が出来るよう、技術の向上を図った。

地域の防災訓練に積極的に参加した。

⑦ 喀痰吸引等安全対策委員会(3ヶ月1回)

介護職員による口腔内の喀痰吸引等について、安全に実施できるよう、看護師が講師となって内部研修を行った。

⑧ 衛生管理委員会(毎月1回)

職員の健康診断の結果を基に多かった症状を取り上げ、勉強会を実施し、職員1人ひとりの体調管理の意識向上を図った。
ストレスチェックを実施した。

(5) 実施事項

① 年間行事

平成28年度に行った主な行事は次の通り。

4月	花見会
5月	新茶の会、デザートバイキング
7月	七夕、納涼祭
8月	素麺食べ放題
9月	敬老会
10月	福祉展見学、福祉祭り参加
11月	寿司食べ放題
12月	クリスマス会
1月	お屠蘇配り、書初め
2月	節分、寿司食べ放題
3月	ひな祭り

② 個別介護支援計画書(ケアプラン)

各利用者様の介護保険認定更新時期に合わせ、毎週水曜日に介護支援専門員・看護師・管理栄養士・介護職員が出席してカンファレンスを行い、個別介護支援計画書を作成した。

計画内容については、身体状況に応じて重点項目について見直しを行い、継続的な支援が実施できるよう心掛けた。

③ 個別機能訓練

専従の機能訓練指導員を配置し、看護師・介護職員の協力のもと、個別機能訓練計画書の作成・見直しを行なうとともに、計画に沿った機能訓練を行った。

④ 健康管理

ア. 嘱託医回診

富士岡秋山医院・・・毎週 1 回(水曜日)

イ. 歯科往診

片岡歯科 ……随時1回(土曜日)

ウ. 健康診断

利用者様全員を対象に、新富士病院にて6月に実施した。

⑤ 入所判定委員会

近隣地区の民生委員 2 名を含む入所判定委員会を、四半期毎(6月、9月、12月、3月)に開催し、優先入所基準に基づく採点により入所順位が上位となった待機者について検討し、適正な施設入所に努めた。

平成 28 年度の新規入所者は15名であった。

(6)職員資質の向上

外部研修、内部研修

外部研修については、静岡県社会福祉協議会が主催する研修を中心として、年間研修計画に沿って受講することができた。

内部研修については、身体拘束廃止に向けた研修を重点的に行った他、各委員会から提案されたテーマによる研修を順次行った。

外部研修は、39 件 40 名が参加し、内部研修は 7 回 120 名が参加した。

(7)連絡会議等への参加

① 相談員連絡会(年6回)

富士圏域の他の老人福祉施設・老人保健施設等で相談員業務に携わっている職員との情報交換の場として参加し、介護保険制度の改正をはじめ、市の今後の方針等についての情報収集により、業務改善に役立てた。

② 栄養士会(年6回)

富士圏域の介護老人福祉施設の栄養士を対象として開催している栄養士会に参加し、献立や調理方法等について意見交換を行う事により、給食業務の改善に役立てた。

(8) 非常災害対策について

- 毎年行っている夜間想定非常呼集訓練については、職員に対し実施日を事前に知らせず、施設職員として、非常事態発生時に駆けつける際の意識改革を図った。

2月には最小の調理材料と身近な物を使用した炊き出し訓練を実施した。また少人数や介護の経験の浅い人でも利用者様を避難させることができるよう、避難用品の選定を行った。

平成 28 年度 防災訓練実施内容

日	内 容
4 月 30日(土)	通報、初期消火、避難誘導訓練、新人職員防災訓練
5 月 18日(水)	通報、地震想定避難誘導訓練
6 月 15日(水)	通報訓練、初期消火、避難誘導
7 月 30日(土)	通報、避難誘導訓練、救急救護訓練
8 月 19日(金)	夜間想定非常呼集訓練、初期消火訓練
9 月 4日(日)	東海地震想定総合防災訓練、情報伝達、救急救護訓練
10 月 26日(水)	通報訓練、初期消火、避難誘導、
11 月 5日(土)	総合防災訓練、通報、避難誘導訓練、AED使用法)
12 月 24日(水)	夜間想定通報、避難誘導訓練、救急救護訓練
1 月 18日(水)	通報訓練、初期消火、避難誘導
2 月 15日(水)	炊き出し訓練、避難誘導訓練、震災訓練
3 月 22日(水)	通報訓練、初期消火、避難誘導